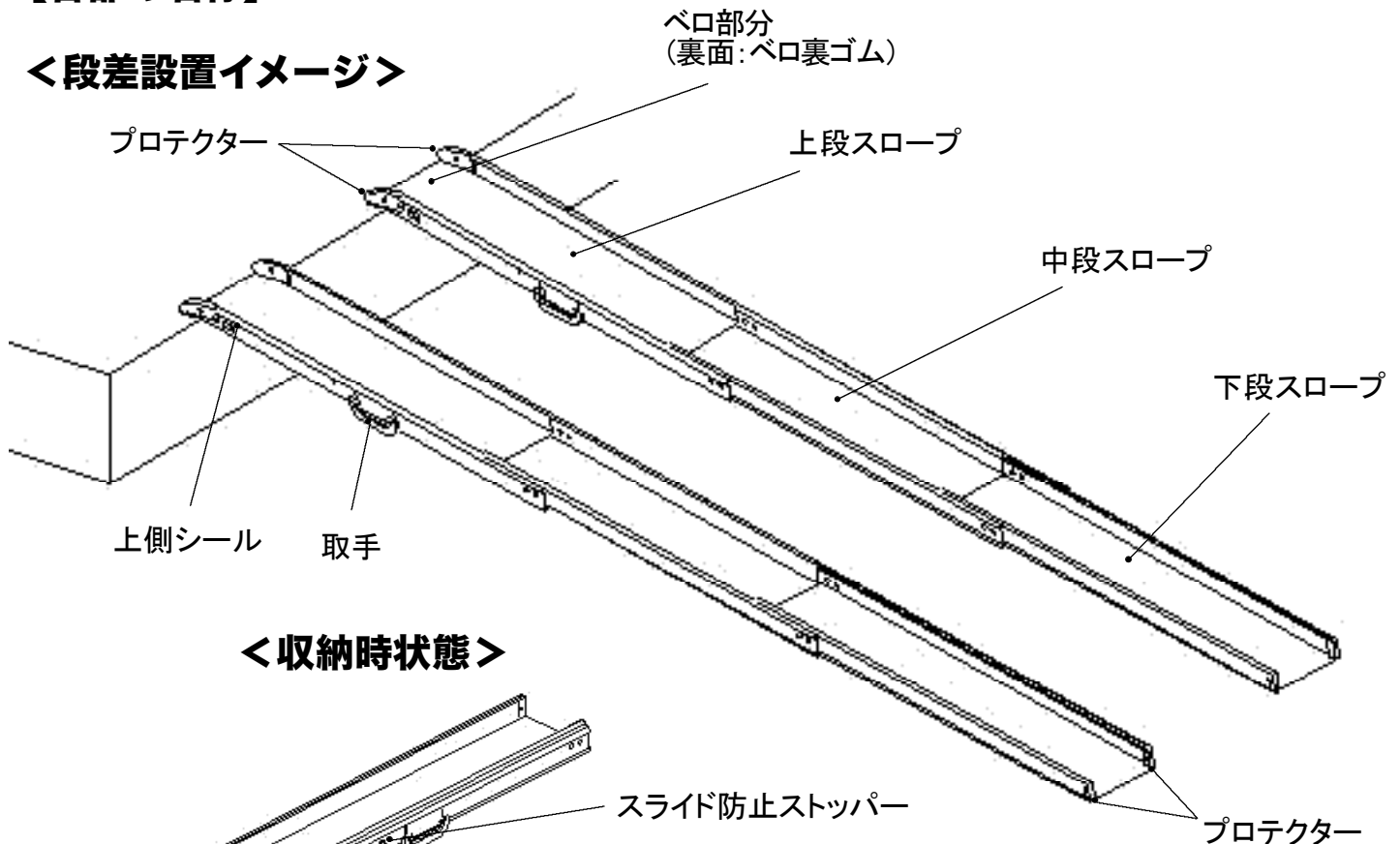


取扱説明書

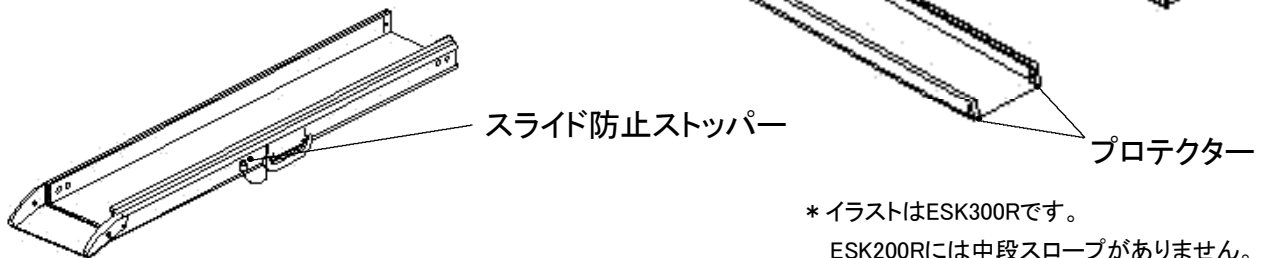
この度は「イーストアイ・ESKスライドスロープ Rタイプ」をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。この製品は移動・持ち運びに便利で、段差に固定しない簡易スロープです。ご使用前に必ず、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。また、この「取扱説明書」はいつでも見られる場所に大切に保管してください。

【各部の名称】

<段差設置イメージ>



<収納時状態>



* イラストはESK300Rです。
ESK200Rには中段スロープがありません。

目次

- ・各部の名称……………1P
- ・基本仕様……………2P
- ・ご使用前に……………2P
- ・福祉用具レンタル業者の
皆様へのお願い……………3P
- ・警告表示の説明……………3P
- ・使用上の警告と注意……………3～8P

- ・引出・収納設置方法……………9P
- ・設置後の確認……………10P
- ・角度表……………10P
- ・お手入れの際の
チェックポイント……………11P
- ・オプションについて……………11P
- ・安全に製品をご使用いただくために……………12P

【基本仕様】

品番	ESK200R	ESK300R
使用時サイズ	全幅25×長さ150～211×エッジ高さ5.5cm	全幅25×長さ150～300×エッジ高さ5.5cm
収納時サイズ	幅25×長さ121×高さ7.5cm	幅25×長さ121×高さ8cm
重量	12kg	17.4kg
材質	■本体:アルミ ■スライド防止ストッパー:スチール、 ■ベロ裏ゴム:ポリウレタン ■プロテクター:ナイロン	

【ご使用前に】

- このスロープの有効走行幅は最小18cm(ESK300R)または19.5cm(ESK200R)、エッジ(側壁)の高さは最大5.5cmです。ご使用前に車いすの前輪と後輪、およびハンドリムがエッジに当たらないで通行が可能かをご確認ください。
- 製品は使用とともに劣化が進みます。取扱説明書をご参照の上、使用毎に各部を点検し、メンテナンスしていただきますようお願い申し上げます。この製品の保証期間はご購入日より1年間です。なお保証期間を経過し、長年ご愛用いただいております製品につきましては、特に注意して点検をしていただき、異常が見られる場合は、即時に使用を中止して『アフターサービスのお問合せ先:12頁』または発売元までお問い合わせをお願いいたします。



「電動カート（4輪車）・電動車いすでの使用についての注意」

- このスロープは、**総重量80kgを超える車いすでは使用しないでください。**

特に電動カート(4輪車)・電動車いすの使用時は、スロープの設置状況等によって急発進・急停車時など、スロープに異常に大きな動荷重が作用して、スロープがずれたり、不安定になり動くなど思わぬ事故の恐れがあります。また、ご使用中にスロープに異常が見られる場合には、即時に使用を中止して『アフターサービスのお問合せ先:12頁』または発売元までお問合せください。

ESKスライドスロープRタイプの耐荷重は静止荷重で
ESK300:125kg/1本(セットで250kg) ESK200:150kg/1本(セットで300kg)です。

電動カート(4輪車)・電動車いすでご使用の際には下記の点に特にご注意ください。

- 総重量80kgを超える車いすでは使用しないでください。
- 車いすをスロープ上で、急停止(ブレーキ)、急発進させないでください。
- スロープの上を歩かないでください。
- 車いすをスロープ上で、蛇行させないでください。
- スロープの上で、車いすを揺さぶるなど不安定な走行をしないでください。
- 片側のスロープのみに偏った荷重がかかるような使い方はしないでください。
- 車いすをスロープ上で停車させないでください。
- スロープを傾いた段差面など、不安定な設置状態で使用しないでください。
- 2本のスロープを同じ長さで使用し、平行に設置してください。
- バッテリーなどがスロープに干渉する場合、無理に走行して使用しないでください。

【福祉用具レンタル業者の皆様へのお願い】

スロープをレンタルされる場合は、実際にご使用になるお客様に事前にスロープの使用条件、設置方法、取扱い上の警告・注意事項など、この取扱説明書の内容について十分説明していただくようお願いいたします。また、実際に使用される場所をご確認いただき、周辺に障害物などの危険(例:溝、小さな段差、小石など)がある場合、ご利用者様に対して、「使用環境の整備」と「事故防止の対策」などの提案をお願いいたします。

* 弊社ホームページから介護保険貸与対象福祉用具の「取扱説明書」の最新版をダウンロードすることができます。(ホームページURL <http://www.easti.co.jp>)

【警告表示の説明】

<p>警告表示：⚠ 警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用する方が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>	<p>警告表示：⚠ 注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用する方が、傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p>
<p>図記号：⊘ 禁止 使用の際に「してはいけない内容(禁止)」を示しています。</p>	<p>図記号：❗ 必ずおこなう 使用の際に「必ずお守りいただく内容(実行)」を示しています。</p>

【使用上の警告と注意】

* 安全のために必ずお守りください



警告

●は使用に際しての具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。
○は●の事項を守らずに使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

耐荷重を超えて
使用しない

●このスロープの耐荷重は ESK300R : 125kg/1本(セットで250kg)
ESK200R : 150kg/1本(セットで300kg)です。
耐荷重を超えるような使い方をしないでください。

○スロープが破損して、車いすを使用される方が転落、転倒するなど思わぬ事故の原因になります。また、スロープ上で飛び跳ねるなど強い衝撃が加わったり、耐荷重を超える力がかかると、スロープが変形して使用できなくなる場合があります。

⊘ 禁止

総重量80kgを
超える車いす
では使用しない

●電動カート(4輪車)・電動車いすでの使用時は、総重量(バッテリーなどを含む)80kgを超える車いすではこのスロープを使用しないでください。

○スロープの接地状況によって、急発進・急停車時などスロープに異常に大きな力が作用して、スロープがずれたり、不安定になり動いて、転落、転倒など思わぬ事故の原因になります。

⊘ 禁止

スロープを 放置しない

* 子供の遊びに
注意

⊘ 禁止

●スロープ上やその周辺で小さなお子さまがのって遊んだり、スロープが周囲の通行の妨げになることがありますので、スロープは放置しないでください。
使用後はすぐに取外して保管してください。

○スロープが外れて転落、転倒など思わぬ事故の原因になります。

引き出し 収納時の注意

* 横にして置き
作業

❗ 必ずおこなう

●スロープ引き出し、収納の際は軍手などを着用してゆっくり作業してください。
また、スロープは必ず横にして引き出し、収納をおこなってください。

○スロープを立てて作業を行うと、スロープが飛び出して足の上に落ちてケガをしたり、スロープが破損するなど思わぬ事故の原因になります。

スロープ左右 2本の長さを そろえて使用

❗ 必ずおこなう

●このスロープは段差に合わせて任意の長さに調整して使用できます。
ただし、ご使用の際は、左右のスロープの長さをそろえてご使用ください。

○左右の長さをそろえずに使用すると、左右のスロープの傾斜角度がそれぞれ異なり、車いすがスロープから転落するなど思わぬ事故の原因になります。

●スロープを完全に収納した状態で使用しないでください。

ESK300Rは150～300cm, ESK200Rは150～211cm の範囲にて伸縮させてご使用ください。

○収納時に、スロープ下端に小さな段差ができるため、伸ばさないまま使用すると、つまずいて転倒するなど思わぬ事故の原因になります。

スロープを設置 する際の注意

* 平らな場所に
設置

❗ 必ずおこなう

●設置の前に、周囲の安全と段差面の状況(段差面が平らか、石など障害物がないか、スロープの使用に耐えられる強度があるか)をご確認ください。

設置する際は、軍手などを着用し、しっかりと持ち、段差とスロープの間やスロープの可動部分に手をはさまないように、静かにゆっくりと設置してください。

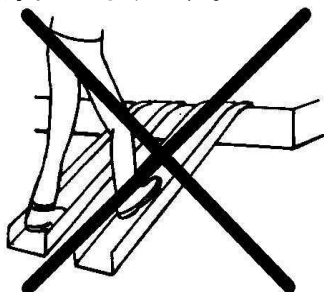
スロープは段差に対して直角にして設置し、設置後にベロ部分がしっかりと奥までのっているか、また、がたつきがないかをご確認ください。

○スロープが段差から脱落したり、ずれて不安定になり車いすが転倒するなど思わぬ事故の原因になります。また、段差面が傾いている場合、左右のスロープの傾斜角度が異なるため、車いすが傾いて転倒するなど思わぬ事故の原因になります。

スロープの上を歩かない

●スロープの上を歩かないでください。介助の方は、左右のスロープの間を取手、スライド防止ストッパーにぶつからないように注意して、ゆっくり歩きながら車いすを昇降させてください。

○スロープの上を歩くと、靴がエッジに引っかかり抜けなくなったり、歩いた反動でスロープがずれたり、外れたりして転倒・転落をするなど思わぬ事故の原因になります。



⊘ 禁止

傾斜角度10度を 超えて使わない

●このスロープは10度を超える傾斜角度で使用しないでください。
下記参考段差高さ以下でご使用ください。

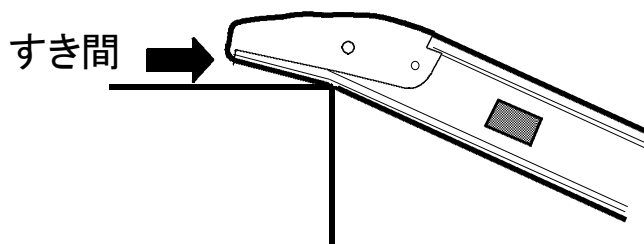
ESK200R : 参考段差 = 35cm

ESK300R : 参考段差 = 52cm です。

参考段差高さは傾斜角度が10度の場合を示しています。
(10頁:角度表をご参照ください。)

○転倒したり、ケガなど思わぬ事故の原因になります。

上記の参考段差高さは目安であり、使用できる段差高さは、車いす利用者の体重や、介助の方の体力等によって変わってきます。また、電動車いすの構造上、床下のすき間が少ない場合、スロープに接触することがありますので、スロープの角度の設定にご注意ください。



⊘ 禁止

* 10° を超えて設置するとベロ部にすき間があくため歩行の際つまずくなど危険です。

車いすは ゆっくり走行

●スロープへののり始め、スロープ上での走行はゆっくり行ってください。
特にスロープを下る時は車いすのブレーキを使用してゆっくり走行してください。
また、電動車いす(電動4輪車)で走行する時に車いすを急発進させたり、急ブレーキを使用しないでください。

○スロープがずれたり、跳ね上がるなどして不安定になり、車いすが転倒するなど思わぬ事故の原因になります。また、車いすが脱輪しないようにご注意ください。

❗ 必ずおこなう

**介助の方が
付き添い使用**

❗ 必ずおこなう

●必ず介助の方が付き添い、スロープをご使用ください。

○車いすが脱輪するなど思わぬ事故の原因になります。自走型の車いす、電動車いす(電動4輪車)でスロープを走行する場合でも、必ず介助の方が付き添いご使用ください。

**裸足、ヒール、
サンダルなどで
介助をしない**

⊘ 禁止

●裸足でスロープを歩いたり、ヒールや、サンダルなどをはいて、車いすの介助をしないでください。また、スロープの上は絶対に歩かないでください。

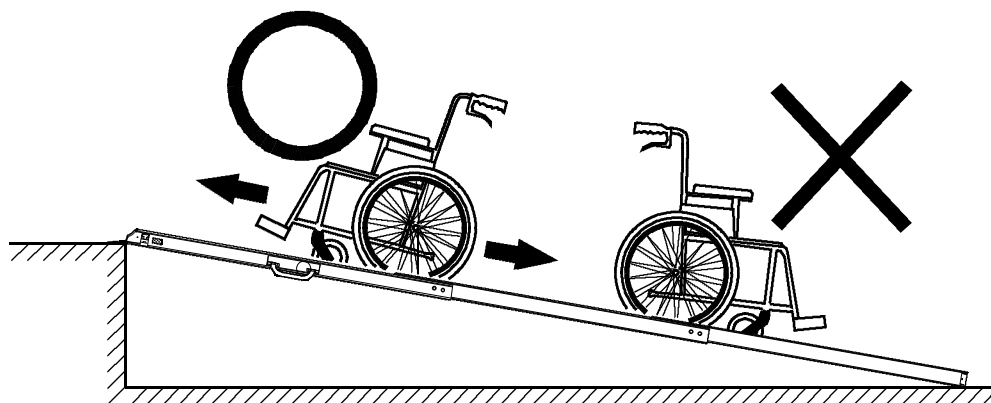
○靴が脱げて転倒するなど思わぬ事故の原因になります。

**段差の低い側で
介助**

❗ 必ずおこなう

●介助の方は必ずスロープの低い側に立ち、上る時も下る時も車いすの前側を段差の高い方へ向けるようにしてください。

○車いすの前側を段差の低い側に向けて通行すると、傾斜角度によっては車いすに乗車する方が転落するなど思わぬ事故の原因になります。



**スロープの
途中で車いす
を放置しない**

⊘ 禁止

●スロープの途中で車いすを止めたまま、その場を離れないでください。

○車いすが動き出して転倒するなど思わぬ事故の原因になります。

改造をしない

⊘ 禁止

●ベロ部の既製の角度を変えたり、他の部品を取付けたり、他の部品に取替えるなどの改造は絶対にしないでください。

⚠ 注意

用途について

- このスロープは、車いす用の段差解消簡易スロープです。段差に固定して使用するタイプのスロープではありません。また、電動3輪車には使用できません。車いすを介助して、段差を乗り降りするための用具です。用途以外には使用しないでください。

⚠ 注意

スロープ走行面を確認

- スロープ表面に泥や雪などが付着すると、滑り止めが効きにくくなる場合があります。使用前にスロープ走行面を確認し、泥や雪などを取除いてからご使用ください。

❗ 必ずおこなう

- 車いすがスリップするなど思わぬ事故の原因になります。

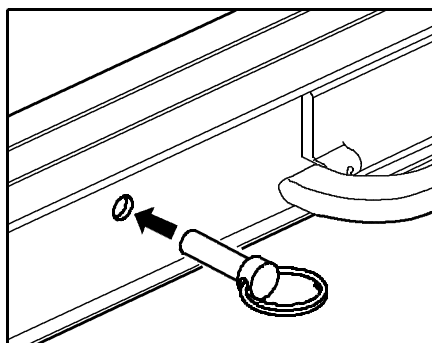
持ち運びの際の注意

- スライド防止ストッパーでしっかりロックしてあることをご確認ください。スロープがのびないように横にして、前後の安全をよくご確認の上、ベロ部分を前方向に向けて持ち、ベロ部分側を少し下に向けて持ち運んでください。

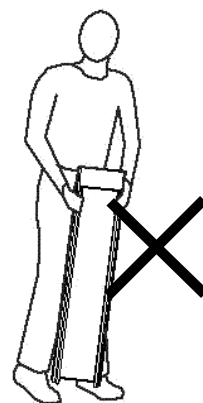
- ストッパーをしないと、スロープがのびて通行する人やものに当たり、ケガをするなど思わぬ事故の原因になります。

- ストッパーをロックした状態でも、スロープを立てて持たないでください。持ち運ぶ時は、必ずスロープを横にしてください。

- スロープの重みでロックが外れる場合があります、足下や床に落ちてケガやスロープの破損など思わぬ事故の原因になります。



- * スライド防止ストッパーをストッパーの先端が飛び出すまで奥に差し込んでロックしてください。



- * 立てて持たないでください。

❗ 必ずおこなう

**熱くなった
スロープに注意**

●夏期など、スロープに長時間直射日光が当たると、スロープ本体の温度が上昇します。設置収納時、また、ご使用の際にはご注意ください。

○熱くなったスロープに触れると、やけどなどをする恐れがありますのでご注意ください。



*設置、収納の際には必ず軍手などを着用してください。

**乱暴な取扱い
をしない**

●スロープを落としたり、倒すなど、乱暴に取扱わないでください。

○スロープ本体が変形して伸縮操作ができなくなったり、亀裂などの損傷が生じて使用ができなくなる恐れがあります。



その他

●段差床面の材質によっては、スロープの使用により床面が傷つくことがあります。使用時には十分ご注意ください。



**異常が
現れた時は
(修理の禁止)**

●定期的にスロープの各部分を『お手入れの際のチェックポイント:11頁』を見ながら点検してください。点検時スロープに異常が見られた時は即時に使用を中止して、『アフターサービスのお問合せ先:12頁』または発売元までお問合せください。



*お客様ご自身での分解や修理は絶対にしないでください。

**お手入れの際の
注意**

●お手入れの際に、エッジや滑り止め部分でケガなどをしないよう十分ご注意ください。スロープを取扱う際は必ず軍手等を着用してください。

●汚れを落とす際はシンナーやベンジンは使用しないでください。水または薄めた中性洗剤を含ませた布を絞って使用し、洗剤をよく洗い流して水気をふき取ってください。

○シンナーやベンジンで樹脂部分が溶け出すおそれがあります。

●金ブラシやたわしなどは使用しないでください。特に滑り止め部分は歯ブラシなどの柔らかいブラシで汚れを落としてください。金ブラシ、たわしなどの固いものでこすり洗いしないでください。

○本体が傷つく恐れがあります。また泥などで汚れたまま放置すると、材質が劣化する恐れがありますので早めに汚れを落としてください。

●海岸付近で使用される場合、潮風に含まれる塩分からアルミ表面が白く変色することがあります。時々水で塩分を洗い落としてください。

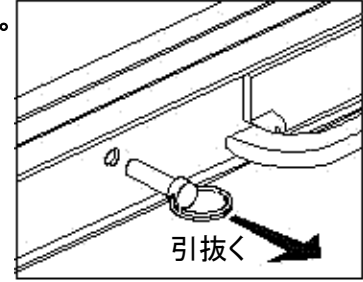
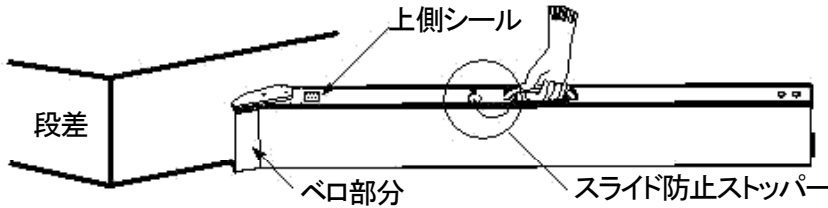


【引出・収納 設置方法】 *軍手を着用し操作、設置してください



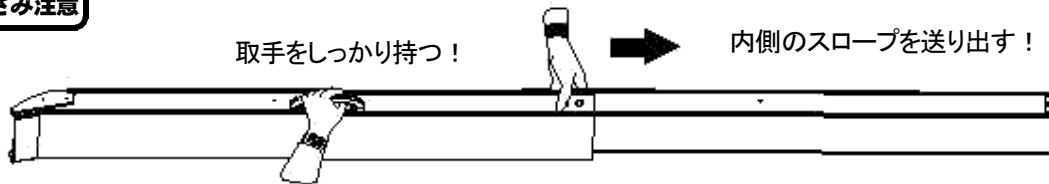
- 引き出し、収納時は、必ずスロープを横にして作業してください。
- 手や指の保護のために、スロープを扱う際は軍手などを着用してください。
- スロープの設置時には、スロープを足などの上に落とさないように十分ご注意ください。
- スロープの引き出し・収納時には、手をはさまないように十分ご注意ください。
ESKスロープは長さが長いので、周囲の人や物にぶつからないようにご注意ください。
状況によって、2人以上でスロープを設置することをお勧めします。

1. 取手を持ち、ベロ部分(上端部)を段差面に向けて、スロープを横にして置きます。
次に、スライド防止ストッパーのリングを持って引き抜きます。(下図○印部分)

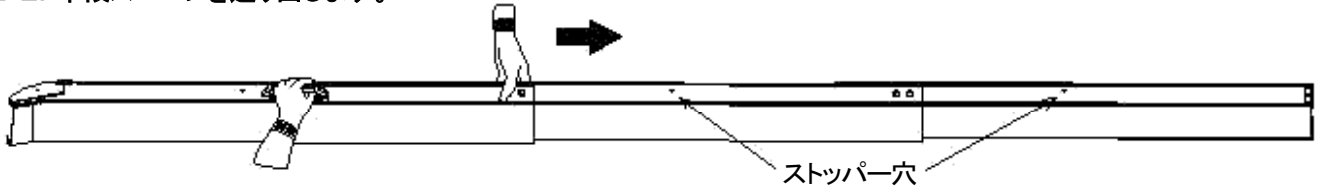


- 2-1. 取手を持ち、反対側の手を下図の位置に置いて、下段スロープ(一番内側のスロープ)を送り出します。

* 下図はESK300Rのイラストです。



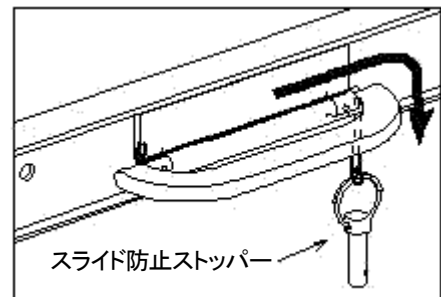
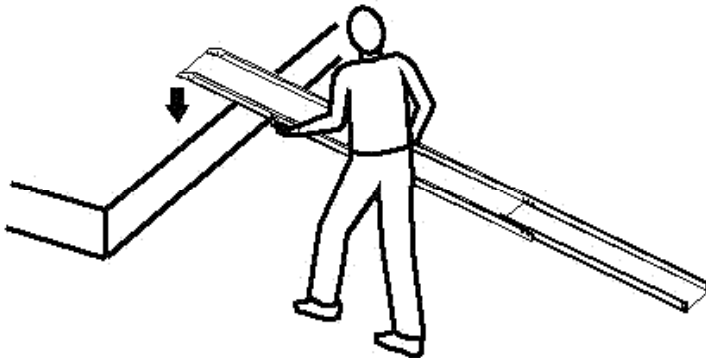
- 2-2. 中段スロープを送り出します。



* 収納する場合は、上記と逆の手順(2-2→2-1)でスロープを引き込んで収納します。

次にストッパー穴の位置を合わせてスライド防止ストッパーを奥まで真っ直ぐ差し込んでロックします。

3. スロープを両手で持ち、段差にベロ部をしっかりのせます。(段差に5~6cmかかる程度)



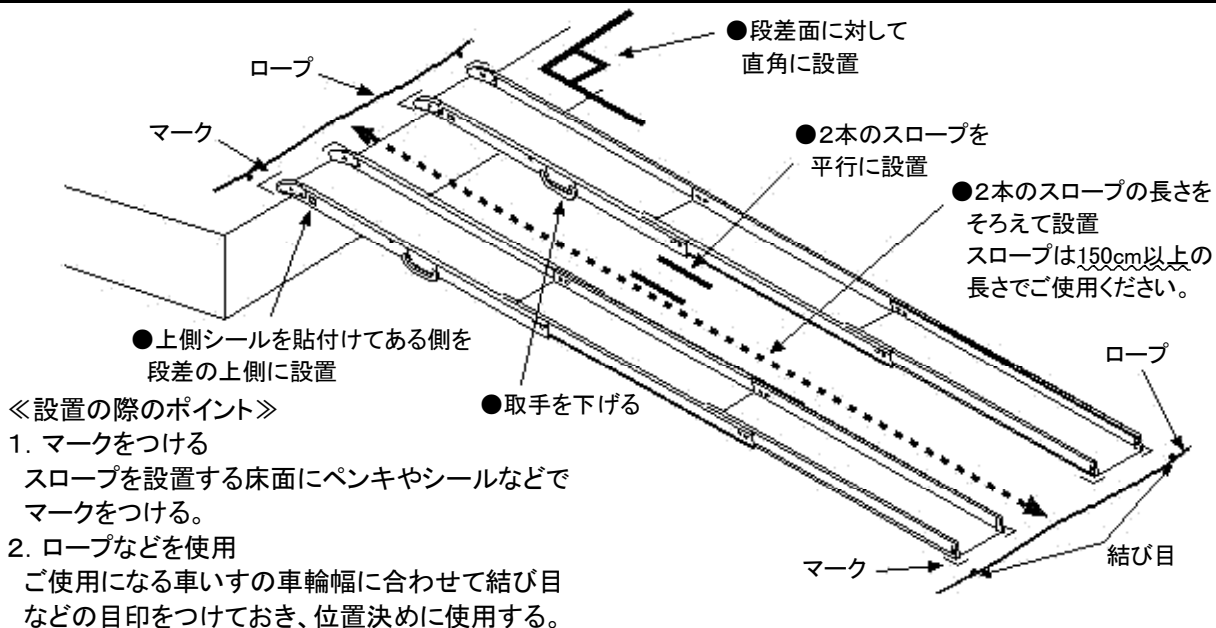
スロープ設置後、スライド防止ストッパーが垂れ下がり地面に転がってしまう場合は、上図のようにひもを取手に引っ掛けるなどして、ご使用の際に介助の方が踏むことのないようにしてください。

- * 車いすの走行幅にあわせて、2本のスロープの設置間隔を調整してください。
- * 状況によって、2人以上でスロープを設置することをお勧めします。
- * 設置後、次頁の【設置後の確認】でスロープが正しく設置されていることをご確認ください。

【設置後の確認】

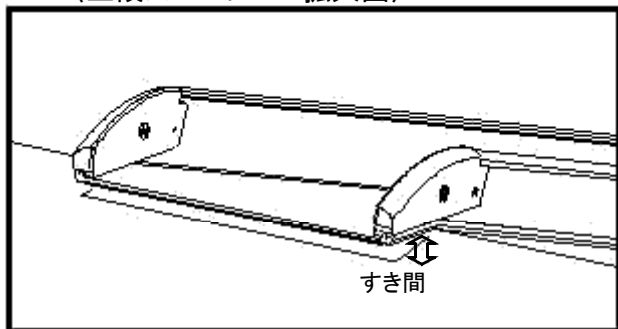
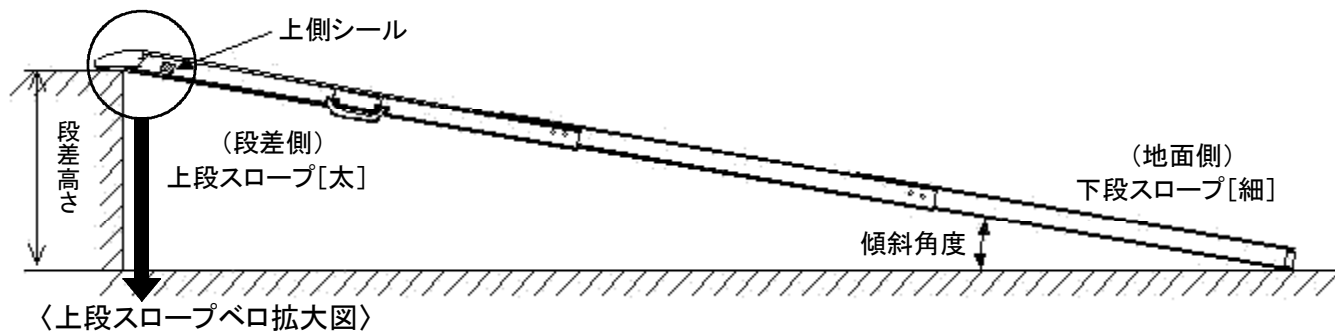


●段差面の状況（段差面が平らか、石などの障害物がないか、スロープの使用に耐えられる強度があるかなど）を再度確認してください。



《設置の際のポイント》

1. マークをつける
スロープを設置する床面にペンキやシールなどでマークをつける。
2. ロープなどを使用
ご使用になる車いすの車輪幅に合わせて結び目などの目印をつけておき、位置決めを使用する。



＜傾斜角度の設定について＞



●ESKシリーズは、スロープの傾斜角度10°を超える場所では使用しないでください。
最大段差を超えてスロープを設置すると、ベロ部(先端部)にすき間ができるため、介助の方がつまずいたり、スロープが段差から外れ、転落してケガをするなど思わぬ事故の原因になります。

【角度表】

使用できるスロープの長さは、ESK200Rは150～211cm、ESK300Rは150～300cmです。主なスロープ長さで設置した際の段差部の高さや傾斜角度の関係を下表に示します。ご使用の目安としてください。* 小数点以下四捨五入

スロープ長さ(cm)	有効長さ(cm)	段差高さ(cm)													傾斜角度(°)		
		8	10	12	15	18	20	25	30	35	40	42	45	50		52	
150	142	3	4	5	6	7	8	10	12								
211	203	2	3	3	4	5	6	7	8	10	11						
250	242		2	3	4	4	5	6	7	8	10	10	11				
300	292			2	3	4	4	5	6	7	8	8	9	10	10		

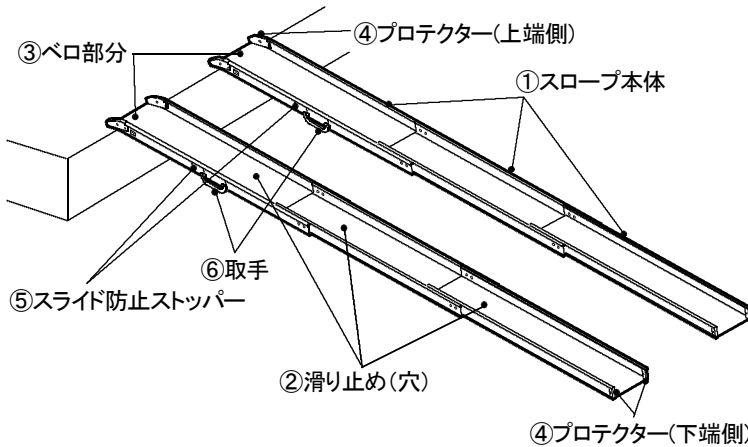
◇表の見方

(例) 段差20cmのところESK200Rを最も伸ばして設置使用した場合(スロープ長さ211cm)、傾斜角度は約6度となります。

(例) 段差40cmのところESK300Rを最も伸ばして設置使用した場合(スロープ長さ300cm)、傾斜角度は約8度となります。

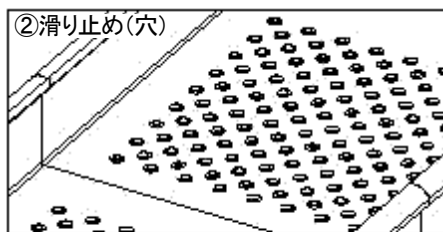
【お手入れの際のチェックポイント】

定期的に、下記の各部分を点検してください。点検時に破損や変形などの異常が見られた場合は、即時に使用を中止して、『アフターサービスのお問合せ先：12頁』または発売元までご相談ください。

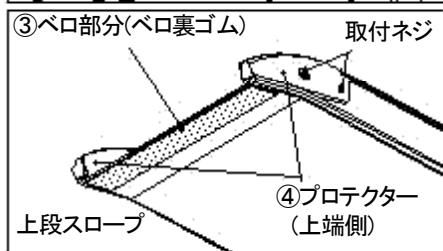


① スロープ本体
スロープ本体に変形、亀裂がないことをご確認ください。本体の引き出し・収納がスムーズにできない場合は、エッジの上・横にグリスや潤滑油を付けてください。こすれや引っかかりなどの不具合がある場合は、『アフターサービスのお問合せ先：12頁』または発売元へ修理のご依頼をお願いします。

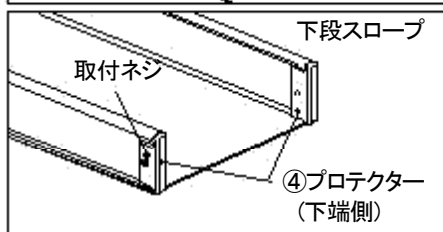
② 滑り止め(穴)
滑り止めが泥などで、目づまりしている場合は、歯ブラシなど柔らかいブラシで、汚れを落としてください。また、穴周囲にバリが出た場合は、紙ヤスリなどで削り落としてください。



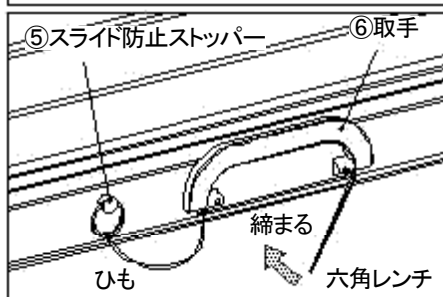
③ ベロ部分(ベロ裏ゴム)
ベロ部分に変形や亀裂がないかをご確認ください。ベロ裏ゴムにはがれがある場合は、接着剤をよく取除き、接着面をきれいにしてからゴム系または変成シリコン系の接着剤を使用して圧着してください。破れなどがある場合は、『アフターサービスのお問合せ先：12頁』または発売元へ修理のご依頼をお願いします。



④ プロテクター
プロテクターに破損、亀裂、脱落などの異常がないことをご確認ください。取付ネジがゆるんでいる場合は、ドライバー(上端側はNo.2とNo.3、下端側はNo.2)で締め付け直してください。状態が改善されない場合やプロテクターが破損したり、脱落した場合は『アフターサービスのお問合せ先：12頁』または発売元へ修理のご依頼をお願いします。



⑤ スライド防止ストッパー
スライド防止ストッパーが穴の奥まで入り、スロープをロックすることをご確認ください。ひもがほどけたら結び直し、結び目を木工用ボンドなどで固めてください。次の状態がみられる場合は、『アフターサービスのお問合せ先：12頁』または発売元へ部品交換、修理のご依頼をお願いします。



- ・ストッパーが抜けてロックできない場合
- ・ストッパーを紛失した場合

* スライド防止ストッパーが外れているとスロープが動いて収納ができません。

⑥ 取手
握り手(ハンドル)や取付部分の樹脂に破損、亀裂などの異常がないことをご確認ください。取手全体が動く場合は、六角レンチ(2mm)で締め付け直してください。状態が改善されない場合や破損した場合は、『アフターサービスのお問合せ先：12頁』または発売元へ修理のご依頼をお願いします。

【オプションについて】

この「イーストアイ・ESKスライドスロープRタイプ(ESK300R/ESK200R)」には、持ち運び時に便利なキャリングケースをご用意しております。

■ESKシリーズ専用キャリングケース(品番:ESKB)

ご注文の際は、『アフターサービスのお問合せ先：12頁』または発売元までご相談ください。

【安全に製品をご使用いただくために・・・】

《レンタル事業者様へ》

- 「イーストアイ・ESKスライドスロープ Rタイプ」をレンタル品としてお取扱いいただきまして、誠にありがとうございます。スロープをレンタルされる際には、実際にご使用になるお客様に、スロープの使用条件、使用方法、取扱い上の警告・注意事項など、この取扱説明書の内容について十分説明していただくようお願いいたします。また、実際に使用される場所をご確認いただき、周辺に障害物などの危険(例：溝、小さな段差、小石など)がある場合、ご利用者様に対して、「使用環境の整備」と「事故防止の対策」などの提案をお願いいたします。この説明書の内容をご説明いただいた後、必ず下記『アフターサービスのお問合せ先』の各事項を記入の上、商品と一緒にご利用者様へお渡しください。
- 定期的にご利用者様宅を訪問の際に、スロープの状態を『お手入れの際のチェックポイント：11頁』に基づきご確認いただき、メンテナンスを行ってください。製品は外部から見て損傷がないように見えても、ご使用とともに金属疲労、紫外線などによる樹脂の劣化・退色、ゴムの摩耗や硬化などの経年劣化が進み、強度不足など総合的に製品の安全性に問題となる場合があります。点検後に異常が見られる場合は、即時に使用を中止して製品の回収をしていただき、下記：『製品についてのお問合せ先』までお問合せください。メンテナンス不良のまま製品の使用を続けると製品の破損や転倒など思わぬ事故の原因になります。定期的にメンテナンスをお願いいたします。
- 弊社では定期的に取り扱説明書を改訂しております。商品をご購入後、1年以上を経過して再レンタルなどの場合には、ホームページから介護保険貸与対象福祉用具の「取扱説明書」の最新版をダウンロードしてご利用ください。(ホームページURL <http://www.easti.co.jp>)

《ご利用者様、介護される方へ》

- この度は「イーストアイ・ESKスライドスロープ Rタイプ」をご使用いただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書には、本製品を安全にご使用いただくための警告・注意事項や使用方法、お手入れの際のチェックポイントや点検方法などが記載してあります。レンタル開始時に必ずこの「取扱説明書」をお読みいただき、不明な点がございましたら、貸与を受けられているレンタル事業者までお問合せください。ご使用の間に、製品に破損や変形などの異常がみられる場合は即時に使用を中止して、『アフターサービスのお問合せ先：下記』または発売元までお問合せください。

『アフターサービスのお問合せ先』

製品名(品番)

イーストアイ・ESKスライドスロープ Rタイプ (品番：ESK200R/ESK300R)

レンタル開始日 年 月 日

会社名 (住所/電話番号をご記入ください)

* 商品に異常が見られる場合はすぐに使用を中止し上記レンタル事業者に連絡してください。

* 無断転載・複写を禁じます。

* 説明の都合上、実際の製品に対し、全てのイラストは簡略化しています。

* 製品を譲渡される場合は、必ず合わせて本説明書もお渡しください。

* 廃棄の際には、居住地の自治体の指示に従い処分・廃棄してください。

■本体部 :アルミ(一部スチール)

■プロテクター:合成樹脂(PE)

■ペロ裏ゴム :ポリウレタン(PU)



＜製品についてのお問合せ先＞

株式会社イーストアイ(発売元)

〒123-0864

東京都足立区鹿浜1-4-14

TEL 03(3897)9393 / FAX 03(3897)9535

[eskr_140912_dl]